



た ま し ょ う

こ
玉小っ子

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和2年度 玉村小学校
学校だより 第6号
2020年6月8日発行

□■□■□ 分散登校2週目に突入 6/8 ■□■□■

◆先週の分散登校については、1年生の下校指導や1日おきの登校についてご協力ありがとうございました。朝の玄関前での検温や始業時の口コモ体操、ラジオ体操についても大変スムーズに行うことができました。また、各学年や学級では授業も始まり、少しずつ学校生活が戻ってきた状況です。天候も梅雨前の暑い日が続きました。今週も暑さが厳しいようですので、教室天井の扇風機やエアコンの掃除をし暑さへの準備もしているところです。

◆また、学校再開後の子ども達の体調管理にも感謝しています。2週目となって、疲れも出ていることが推測できます。自宅での朝の検温で異常が見られた際には無理に登校させず、休養するようにしてください。必要があれば受診もお願いします。欠席の際は学校への連絡もよろしくお願いします。

◆今週も分散登校ですが、来週からの通常登校を見据えて、子ども達の心身が学校生活に徐々に慣れていけるように配慮しながら進めていきます。「急がず、焦らず、じっくり」とを念頭に、登校してきた子ども達が安心して学校生活を送れるようにしていきます。

◆通常登校が来週から始まるに当たり、様々なところでお願いやご協力をするところがあるかと思えます。新型コロナウイルス感染症の蔓延し、日々安心できないこれまでに無い状況の中で、通常の学校生活に移行していきますので、その都度、情報発信をしながら、学校現場の様子がわかるようにしていきたいと思えます。玉小のホームページをこまめに閲覧し、発信内容を確認いただければ幸いです。

☆☆☆☆ 通常登校開始後の見通しについて ☆☆☆☆

★15日から通常登校が開始されます。それに伴い、各学年の毎日の校時表に沿った授業となります。通常通り6時間目まで授業をする学年は、少々ハードな毎日になるかと考えます。また、1日おきの登校だったのが、毎日になります。これもまた、子ども達にとっては大変なことかと…。なおさら、1年生達は容易なことではないと思います。すぐに慣れるものではないので、じっくりと対応していきましょう。毎日疲れて帰ってきますので、栄養補給や休養を十分に取らせてください。

★1学期末までの主な見通しをお知らせします。

【その1】15日から「AB班による時間差登校」を進めます。朝の検温のために「密」を回避するための手立てです。当分の間実施しなければなりません。通知文は今週中に配布します。

【その2】身体測定、視力、聴力検査は、6月下旬から開始する予定です。

【その3】「家庭訪問」や「学習参観」「学級懇談会」「水泳指導」「水泳記録会」は実施しません。

【その4】1学期に実施予定の「遠足」「社会科見学」は2学期以降に延期します。

【その5】7/21からの夏休みを授業日に振り替えます。1学期の終業式を7月31日(金)とし、この日まで授業日で、その間給食も提供されます。午後まで授業をするかどうかは未定です。

【その6】花火大会やふるさと祭も中止。玉小フェスタも実施は難しい状況です。

***** 金曜日の清掃時間の様子 6/5 *****



掃除の時間
1年生も頑張ってます

◆分散登校中は少ない人数でも頑張って掃除に取り組んでいます。1年生も5時間目までの授業ですから、昼休みの後は掃除です。協力して机を運んで「ふ～、疲れるなあ～」と。5年生も分担場所の通路を散水掃除で師弟同行で頑張っています。ホコリが舞い上がらないように工夫していますね。



掃除の時間
先生も5年生も頑張ってます

各教科等の履修内容、実施時間について

■6/5のホームページの掲載でもご案内しましたが、6/1発行の「玉小っ子4号」で、国や県が通達した学習内容の履修割合をお知らせしました。「国語、社会、算数、理科、外国語は例年の70%程度。生活は60%程度、体育、音楽、図工、家庭は50%程度、道徳、学活、総合は30%程度に内容が削減され…」と。その後、県の修正点(体、音、図、家⇒70%)が示されました。

■更に教務主任の深町先生が、夏休みや冬休み、県民の日等の授業日数を加味して、可能授業時数の計算をしたところ、次のように、割合が増える状況となりました。※下表もご確認ください。

国、社、算、理、外⇒90% 生⇒80% 体、音、図、家⇒80% 道、学、総⇒50%

※ただし、玉村町は英語特区のため、1 2年生の外国語活動については、生活科から時数を移行して週1コマを実施しています。ご承知おき下さい。

■また、総時数についても、上記の割合でできる実施時数に加え、プラス約100時間前後の余裕があります。このことから、「国社算理外」については、若干の時数減ですが、ほぼ全ての学習内容をカバーできることが可能です。また、その他の教科等では、「実技」や「体験活動」、「話し合い」等が主な学習スタイルですので、「密」や「接触」、「飛沫」を避ける授業方法を配慮しての実施時数となります。それぞれの時数については、学年により若干の差はあります。

標準時数と実施できる割合の時数一覧表（6年生の時数と総時数を例示、生活科は2年生）

教科等と標準時数		実施可能時数(割合で算出)
国語	1 7 5	1 5 7. 5 (90%)
社会	1 0 5	9 4. 5 (90%)
算数	1 7 5	1 5 7. 5 (90%)
理科	1 0 5	9 4. 5 (90%)
生活	7 0	5 6 (80%)
音楽・図工	5 0	4 0 (80%)
家庭	5 5	4 4 (80%)
体育	9 0	7 2 (80%)
道徳・学活	3 5	1 7. 5 (50%)
総合	7 0	3 5 (50%)
外国語	7 0	6 3 (90%)
総時数	1 0 1 5	8 3 3

※上記表の標準時数(年35週)の計算です。実質の実施可能時数を抽出すると、6年生では、940時間(6年)となり、約100時間が各教科等で調整して使える時数に計算上はなります。ただし、学校行事や学年の旅行等の行事のカウントは入っていません。

こうちやうのひとりごと

■先週は何かとっても長い1週間だったように感じました～。何人かの先生に聞いても同様な答えが返ってきました。このことは、ご家族にとっても、もちろん子ども達にとっても、そうだったのではないのでしょうか。急に環境が変わると、順応や適応に大変さを感じることは当たり前のことで、そこを無理矢理何とかしようとするとう具合が出てしまいます。学校でも家庭でも「急がず、焦らず、じっくりと」を意識して、互いに連携した取り組みをしっかりと進めていくことが大切ですね。来週から通常登校が始まり、更に順応や適応の大変さが見えてくると思います。頑張らねば…湯!